

# キャリア教育への取り組み

## 生きる力や人間関係形成能力を育てるために

市立小・中学校では、子どもたちが夢の実現に向けて主体的かつ積極的にチャレンジできるよう、また、創造力やコミュニケーション能力などを高められるよう、キャリア教育を通してさまざまな取り組みを行っています。

### 職業体験

#### 草生小学校

実際に働く人の姿を見たり、意見を聞いたりすることで、職業の社会的な意義や役割、また職業を通しての生きがいなどを理解することを目的に実施しています。職場における就業体験を通して、児童はコミュニケーション能力などの実社会における社会人としての適応力や、地域社会の一員としての自覚を高めることができました。



実際に働く人の姿を見たり、意見を聞いたりすることで、職業の社会的な意義や役割、また職業を通しての生きがいなどを理解することを目的に実施しています。職場における就業体験を通して、児童はコミュニケーション能力などの実社会における社会人としての適応力や、地域社会の一員としての自覚を高めることができました。

#### 高野尾小学校

5・6年生が出資して仮想の会社を設立、商品開発、製作を経て、実際にスーパーの店頭で商品を販売しました。



お客さんが欲しいと思う商品作りの難しさを感じながらも、自分なりのアイデアを出したり、いろいろな意見を聞いたりして課題解決に取り組みました。また、接客マナーは百貨店勤務の人から学び、ディスプレイを工夫して販売し、自分たちが作った商品が売れた時には、大きな喜びや満足感が得られました。

### 会社をつくろう

#### 一身田中学校

1年生が、地域活性化「一身田の町を元気にしよう」をテーマに、地域の伝統工芸を生かした商品や白塚海岸で入手した貝殻から考案したオリジナル商品などの販売を手掛けました。

「一身田寺内町まつり」における販売活動を通じて、地域の皆さんとのコミュニケーションを図り、地域の一員として生徒自らが課題解決のために主体的に行動を起こすことの重要性を実感することができました。



#### 藤水小学校

「稲の収穫が終われば捨てられてしまう稲わらを利用してリースを作ることで生活を豊かにしたい」「自然のものを利用したリース作りを通して自然の大切さを知ってほしい」との理念で、5年生の各クラスが企画・販売促進・製作・会計と役割分担し、稲わらで作ったリースを丸之内商店街で販売しました。また、お客さんとの交流も楽しむことができました。



## キャリア教育の成果が表彰されました

11月21日に京都大学百周年時計台記念館で「バーチャル・カンパニー トレードフェア」が行われました。これは、環境や福祉、地域活性化など社会的な課題解決をテーマに、新しい製品やサービスなどを提案し、それを扱う仮想企業（バーチャル・カンパニー）を設立、運営成果を発表するもので、小学生から大学生まで、全国から36チームが参加しました。

市内からは、起業家教育プログラム「会社をつくろう」に取り組んでいる藤水小学校「ふじみずクラブ」と一身田中学校1年生が参加し、地域活性化や環境をテーマに、地域の伝統工芸を生かした商品や間伐材を再利用して開発した商品の発表・販売を行いました。結果、藤水小は、小中高部門で優秀賞を、一身田中は、一般来場者が選ぶ「ベストショップ賞」を獲得しました。

